

---

## 内藤廣展 アタマの現場

---

**2014年1月18日（土）～3月22日（土）**

会場＝TOTO ギャラリー・間（東京都港区南青山 1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F）

休館日＝日曜日・月曜日・祝日

開館時間＝11:00～18:00（金曜日は 19:00 まで） 入場無料

**講演会：2014年1月31日（金）18:30～**

事前申込制 会場＝津田ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24）



---

## 展覧会概要

---

TOTO ギャラリー・間において2度目となる建築家、内藤廣氏の個展を開催いたします。

1995年に「素形の構図 還元する場のかたち」(6.9~7.22)と題して開催された最初の個展では、「誰しもの心の奥底にある建築の原形質のようなもの」という概念に“素形”という名前を与え、自身の作品を語った。それから18年、内藤氏によって生み出された“素形”の概念は、さらに新たな意味と言葉が加わり、鮮明さを増している。

「空間の価値」を常に探求してきた氏曰く、「建築はそこに生きる人の生命が宿る場所であり、人々が過ごした時間や空間の記憶が張り付くことによって、建築自体が命を得ているのである」と。そして個人の暮らしの夢である“素形”から、共同体の夢である風景、すなわち“素景”こそが、3.11を経た現代において実現されるべきものであると語る。

展覧会場では、数々の作品を生み出してきた内藤廣建築設計事務所の一部を再現するとともに、初期の代表作から現在進行中のプロジェクト、更にはプロジェクトに終わった作品を通して思考の過程を紹介します。

ひとりの建築家がひたすら走り続けてきた「アタマの現場」を、その思考のなかから発せられた語録「言葉のかげら」とともに堪能ください。

---

## 展覧会情報

---

展覧会名(日)	内藤廣展 アタマの現場
展覧会名(英)	Hiroshi Naito: The Site of My Mind
会期	2014年1月18日(土)~3月22日(土)
開館時間	11:00~18:00(金曜日は19:00まで)
休館日	日曜日・月曜日・祝日
入場料	無料
会場	TOTO ギャラリー・間 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TOTO 乃木坂ビル 3F TEL=03-3402-1010 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/gallerma/">www.toto.co.jp/gallerma/</a>
交通案内	東京メトロ千代田線 乃木坂駅3番出口徒歩1分 都営地下鉄大江戸線 六本木駅7番出口徒歩6分 東京メトロ日比谷線 六本木駅4a番出口徒歩7分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営地下鉄大江戸線 青山一丁目駅4番出口徒歩7分
主催	TOTO ギャラリー・間
企画	TOTO ギャラリー・間運営委員会 特別顧問: 安藤忠雄 委員: 岸和郎/内藤廣/原研哉/エルウィン・ビライ
後援	(一社)東京建築士会/ (一社)東京都建築士事務所協会/ (公社)日本建築家協会 関東甲信越支部/ (一社)日本建築学会関東支部

---

## 建築家紹介

---

内藤廣氏による展覧会コンセプト文

### アタマの現場

この約 10 年間、ひたすら走り続けてきた。わたしの頭は、身の周りで拡大していく領域に追いつくのがやっとで、いまだに整理整頓がついていない。それはひとつの混乱状態ともいえるもので、山積みになった本と処理し切れない書類の束と懸案事項の図面とに囲まれたわたしの仕事場さながらである。

展覧会では、ひとりの建築家として、混乱しつつ拡大してきた領域を背景に、それでも思考の基点としていつも建築に立ち戻ることによって自分自身を保持してきた、わたし自身の「アタマの現場」をお見せするものになると思う。

わたしは凡庸な人間だ。振り返ってみれば、幾つかの幸運に恵まれたことは確かだが、特別な才能があるわけではない。だから、わたしにできることは、誰にでもできることだと信じている。展覧会を見て、もし共感してもらえるところがあるのなら、それはあなたにもできることだ。

わたしの「アタマの現場」と同様、世の中の混迷は続いている。ひょっとしたらこれは、「終わりのない物語」の始まりなのかもしれない。これからは、すっきりとした結論などどこにもない、ということに耐えねばならない。一方で、その耐えることの中で、この国の建築の文化は、ようやく成熟する時を迎えるのではないかとも思っている。ひょっとしたら、求められているのは、そしてわれわれがたどり着く先は、「偉大なる凡庸さ」のようなものかもしれない。

### 内藤 廣 (ないとう・ひろし)

1950 年生まれ。1976 年早稲田大学大学院修士課程修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所（スペイン・マドリッド）、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981 年内藤廣建築設計事務所を設立。2001～2011 年東京大学大学院にて、教授・副学長を歴任。2011 年より同大学名誉教授・総長室顧問。主な建築作品に、「海の博物館」（三重県、1992 年）、「安曇野ちひろ美術館」（長野県、1997 年）、「牧野富太郎記念館」（高知県、1999 年）、「倫理研究所富士高原研修所」（静岡県、2001 年）、「島根県芸術文化センター」（島根県、2005 年）、「日向市駅」（宮崎県、2008 年）、「高知駅」（高知県、2009 年）、「虎屋京都店」（京都府、2009 年）、「旭川駅」（北海道、2011 年）など。また近著には、『内藤 廣と若者たち 人生をめぐる一八の対話』（東京大学景観研究室編、鹿島出版会）、『内藤廣の頭と手』（彰国社）、『内藤 廣の建築 1992-2004 素形から素景へ 1』（TOTO 出版）、『内藤 廣+石元泰博 空間との対話』（ADP）、『形態デザイン講義』（王国社）などがある。



---

## 展覧会の見どころ

---

### [1] アタマの現場——内藤廣建築事務所を再現

第1会場（3階）では、内藤氏の所長机の周辺を、さらに第2会場（4階）では、所員の執務空間を再現します。氏の蔵書の数々や愛用品に加え、現在、実際に執務机の前に掛けており、「桜」の一文字に込められた気迫に日々圧倒されているという、前衛いけ花作家、故・中川幸夫氏による書も見もの。その他、所員のデスクに置かれたスケッチやエスキース、パソコンで閲覧できる図面データ、スタディ模型の数々、木製模型など、内藤廣建築設計事務所の日常を再現した展示を通して、内藤作品が生み出されてきた「アタマの現場」をより身近に、よりリアルに感じていただける展示となっています。

### [2] 代表作から最新プロジェクト、さらに未完のプロジェクトまでを総覧

「静岡県草薙総合運動場体育館」（2015年完成予定）や「安曇野市庁舎」（同年完成予定）など、現在進行中のプロジェクトを中心に、「ギャラリーTOM」（1984年）、「海の博物館」（1992年）などの初期代表作からコンペティション出品作などの未完の作品まで、内藤廣氏の30余年にわたる設計活動の全容を総覧いただけます。また、中庭（3階）には、自身が綴った文章の中から格言的なテキストを取り出した「言葉のかげら」を展示。建築家として、自らの基点を決して見失うことなく走り続けてきた、内藤廣氏の活動の軌跡をご覧ください。

---

## 関連プログラム

---

### 内藤廣講演会 アタマの現場

日時	2014年1月31日（金）17:30開場、18:30開演、20:30終演（予定）
会場	津田ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24）
定員	490名
参加費	無料
参加方法	事前申込制：申込期間内にウェブサイトよりお申し込みください。 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/gallerma/">www.toto.co.jp/gallerma/</a> 抽選の上、2014年1月24日（金）までに結果をご連絡いたします。
お申込期間	2013年12月2日（月）～2014年1月13日（月）

---

## 関連書籍

---

### 『内藤 廣の建築 2005-2013 素形から素景へ2』

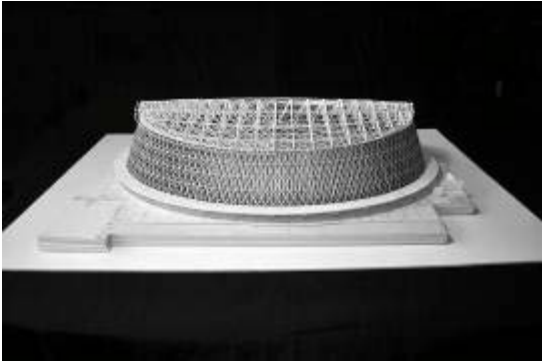
著者	内藤 廣
発行日	2014年1月中旬
体裁	B5判変型(190×250mm)、ソフトカバー、350頁（予定）
発行	TOTO出版（TEL=03-3402-7138 URL= <a href="http://www.toto.co.jp/publishing/">www.toto.co.jp/publishing/</a> ）

---

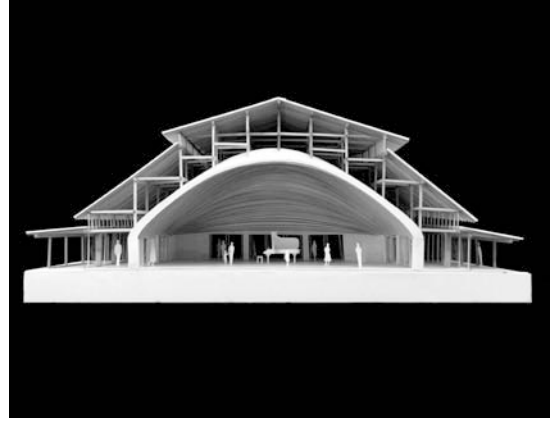
## ギャラリートーク

---

会期中、内藤廣氏ご本人によるギャラリートークの実施を予定しております。  
日程等、詳細が決まり次第、TOTOギャラリー・間のウェブサイトにてご案内いたします。



[1] 静岡県草薙総合運動場体育館 (2015年完成予定)



[2] A project (プロジェクト)



[3] 九州大学椎木講堂 (2014年完成予定)



[4] 安曇野市庁舎 (2015年完成予定)